

令和6年度 学校関係者評価結果報告書

学校名

成田市立加良部小学校

1 学校教育目標

〈夢をもち 未来を拓く〉
確かな学力を身に付け 心豊かで 健康な子どもを育てる

学校関係者評価委員

2 本年度の重点化された具体的な目標

- (1) 思考し、判断し、表現する力を育てる学習指導の充実
- (2) 思いやりや自律心を育てる心の教育と生徒指導の充実
- (3) たくましい心身を育てる健康・安全指導の充実
- (4) 個々の実態に応じた特別支援教育の充実
- (5) 教職員の心身の健康を維持し、児童と笑顔で向き合うための働き方改革への取組

学校運営協議会委員

3 自己評価結果に対する学校関係者の評価・意見等

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策	学校関係者評価	
					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学習指導	〈教職員〉 子どもが「わかる、できる」学習指導の充実において、学年・学級・教科等の教育活動について、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 8% 大体できている 85%	A	タブレットを活用し、お互いの考えを共有したり、説明したりする授業を多く取り入れることで子どもたちの表現力を高めることができた。今後は、さらに表現することが思考の広がりや深まりにつながるような授業の工夫について、教職員の研修を通して取り組んでいく。	A	A
	〈保護者〉 学校は、子どもをよく理解し、わかりやすい授業を行っている。	あてはまる 38% ややあてはまる 51%	B			
	学校は、子ども同士の学び合いや表現力の育成をめざした指導をしている。	あてはまる 41% ややあてはまる 51%	A			
学校関係者による意見等	・表現できるようにするには、不安感を和らげる必要がある。衝動的に否定的な発言を繰り返すことがないように前向きな教育を今後も継続してほしい。 ・タブレットを活用して、子どもたちが生き生きと授業に参加している。今後もタブレットの活用をすすめてほしい。					
生徒指導 道徳指導	〈教職員〉 思いやりや自律心を育てる心の教育と生徒指導の充実について、学年・学級・教科等の教育活動において、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 0% 大体できている 96%	A	入学当初に6年生が1年生の手伝いをしたり、なかよしタイムやクラブ活動等の異学年交流を経験したりして、子どもたちの豊かな心を育む取組に成果がみられた。今後は、スマイルカードの有効活用なども推進したい。	A	A
	〈保護者〉 お父さんは、友達を思いやりたり、よいところを認め合ったりしている。	あてはまる 56% ややあてはまる 41%	A	あいさつについては、職員の取組を強化し、家庭との連携を図りながら、気持ちのよい学校の雰囲気づくりに努めたい。		
	学校は、明るいあいさつができるよう指導している。	あてはまる 50% ややあてはまる 43%	A			
学校関係者による意見等	・教育や指導の仕方などは問題ないと思うが、時代と共に変化していくので、それに対応しなければならぬ学校は大変である。 ・なかよしタイムのことは、中学生に進学した後も子どもたちが覚えており、登下校時に下級生と話をしている姿もみられる。今後も継続させていくことをお願いしたい。					
健康指導 安全指導	〈教職員〉 たくましい心身を育てる健康・安全指導の充実について、学年・学級・教科等の教育活動において、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 4% 大体できている 89%	A	持久走の記録会や縄跳び検定等、目標をもって運動に取り組ませてきた。子どもたちの健康状態を適切に把握した上で、外遊びを励行していく。	A	A
	〈保護者〉 お父さんは、健康状態に気を付けたり、運動や外遊びをしたりしている。	あてはまる 45% ややあてはまる 43%	A	PTA奉仕作業にご協力いただくとともに、委託業者を活用し、学校の環境整備に一層努める。また、避難訓練の方法の工夫などにより、防災意識を高めたい。		
	学校の校舎内外は整理整頓され、安全で安心して学ぶ環境づくりをしている。	あてはまる 45% ややあてはまる 51%	A			
学校関係者による意見等	・PTA奉仕作業や交通安全指導などのPTA活動が子どもたちの安全や学校環境の維持につながっている。今後もPTAや地域と連携しながら子どもたちの安全に努めてほしい。 ・陸上大会や綱引き大会等、日頃の体力づくりの成果があらわれたと考えられる。今後も継続した指導をお願いしたい。					
特別支援教育	〈教職員〉 個々の実態に応じた特別支援教育の充実について、学年・学級・教科等の教育活動において、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 4% 大体できている 85%	B	十分に満足できる結果とはいえない。合理的配慮の申し出などを基に、よりきめ細かな支援を図っていく。	A	A
	〈保護者〉 学校は、子どもの実態を適切に把握し、個に応じて教育活動を支援している。	あてはまる 33% ややあてはまる 55%	B	特別支援教育の充実を図るとともに、共生社会におけるインクルーシブ教育について保護者や地域への周知に努める。		
学校関係者による意見等	・現代の共生社会における特別支援教育のあり方について、保護者・地域への周知のために具体的な話合いの会を増やせると良いと思う。 ・現代の共生社会のあり方や取組について保護者の知識・情報が足りていないと考えられる。支援を必要としている子の生きづらさを理解し、自身につなげられる支援の形があることを周知する機会をつくると良いのではないかと思います。					
保護者・地域との連携 働き方改革	〈教職員〉 教職員の心身の健康を維持し、児童と笑顔で向き合うための働き方改革への取組について、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 15% 大体できている 65%	B	社会科や生活科、総合、安全指導、学校行事等との関連で、外部人材を活用したり、関係団体の協力を仰いだりして、教育活動の充実を積極的に図ってきた。今後も継続して取り組んでいく。	A	A
	〈保護者〉 学校は、地域の自然や施設、人との関わり合いを取り入れた学習を進めている。	あてはまる 40% ややあてはまる 52%	A	校務のDX化や見直しを進め、教職員がゆとりをもって子どもたちと向き合うことができるよう、一層の工夫を検討する。		
	学校は、家庭・PTA・地域と連携し、地域全体で子どもを育てようとしている。	あてはまる 36% ややあてはまる 56%	A			
学校関係者による意見等	・保護者・地域との連携はとても大事ですが、働き方改革によって先生と児童との距離ができないか不安がある。先生と児童の関係を大事にしながら働き方改革を進めてほしい。 ・主務について見直して頂き、できる限り、子どもたちと向き合う時間の確保を期待したい。					

4 次期の重点目標と改善のための方策

- 今年度の学校評価結果から、児童一人一人の実態や状況に応じた適切な指導・支援のあり方に課題が見られた。また、その対応の様子を適時保護者に知らせたり、学校や学級の取組を周知したりする活動が十分ではないとの意見もあった。以上のことを踏まえ、来年度は次の5つの重点目標を設定し、学校運営を進める。
- (1) 思考し、判断し、表現する力を育てる学習指導の工夫と充実
 - (2) 思いやりや自律心を育てる心の教育と生徒指導の充実
 - (3) たくましい心身を育てる健康・安全指導の充実
 - (4) 個々の実態や状況に応じた指導・支援と保護者との連携
 - (5) 教職員の心身の健康を維持し、児童と笑顔で向き合うための働き方改革への取組